



徹の部屋

Vol.7

2026年7月26日(日)

15時開演 (14時半開場、17時終演)

今井館聖書講堂 (駒込)

一般 4,000 円/学生 2,500 円

13時より若い音楽家による
無料のコンサートがあります

弦楽器にとって 20 世紀はガット弦からスチール弦に替わっていった時代ですが、チェロはヴァイオリンよりもその移行が遅く、1950 年代からといわれています。そしてそれ以降も暫く、作曲家や奏者の頭にあったのはガット弦の音とテクニックだったはずです。今回は、20 世紀の無伴奏チェロ作品を通じてガット弦とスチール弦との「汽水域」を探る旅に出ようと思います。門下生による演奏会もぜひお聴きください。

コダーイ：無伴奏チェロソナタ op.8 より第 2 楽章 (1915)

イザイ：無伴奏チェロソナタ (1924)、カサド：無伴奏チェロ組曲 (1926)

クラム：無伴奏チェロソナタ (1955)、ブリテン：無伴奏チェロ組曲第 1 番より第 1 の歌、フーガ (1964)

デュティユー：ザッハーの名による 3 つのストロフ (1976)

チェロ：山本 徹

お問い合わせ・お申込み：<https://scordatoru.wixsite.com/toru-yamamoto/contact>

(右下の QR コードからお申込みいただけます)

会場：今井館聖書講堂 (駒込駅徒歩 11 分) 文京区本駒込 6-11-15





山本 徹 (バロックチェロ)

東京藝術大学器楽科、同大学院古楽専攻、及びチューリヒ芸術大学修了。チェロを土肥敬、河野文昭、北本秀樹、鈴木秀美、ルール＝ディールティーンズの各氏に師事。また東京藝術大学バッハカンタータクラブにて小林道夫氏の指導のもと研鑽を積む。

通奏低音奏者としての信頼も各方面より篤く、バッハ・コレギウム・ジャパン、オーケストラ・リベラ・クラシカ等、国内のオリジナル楽器オーケストラの主要メンバーとして定期公演・録音・海外ツアーに参加する。根本卓也氏とのユニット「ジュゴンボーイズ」ではクーランのコンセル全曲演奏会を2度行うほか、通奏低音ユニットとして本村睦幸氏のCD「ナポリのリコーダー協奏曲」録音にも参加する。2018年に有志と立ち上げた「オルケストル・アヴァン＝ギャルド」では理事および首席チェロ奏者を務め、圓谷俊貴氏主宰「プロムジカ・バロック・アカデミー」でも首席チェロ奏者・インスペクターを務める。

2006年第20回国際古楽コンクール<山梨>第2位。翌年には同コンクール委員会の推薦により栃木・蔵の街音楽祭にてリサイタルを行う。2008年第16回ライブツィヒ国際バッハ・コンクール第2位。2011年ブルージュ国際古楽コンクール審査員賞、及びオランダ・ファンヴァッセナール国際コンクール優勝。2010年度文化庁新進芸術家海外研修員、2011年度ロームミュージックファンデーション奨学生。2016年東京藝術大学の集中講義「古楽器概論」講師、2017年シンガポール国立大学ヨン・シュウトウ音楽院でのマスタークラス及び国際古楽コンクール<山梨>審査員、また2020年には新・福岡古楽音楽祭の古楽講座「むかしの楽器～チェロ編」講師を務めるなど、オリジナル楽器とバロック音楽の普及にも力を入れている。2025年4月より東京藝術大学古楽科講師。



会場にお客様用駐車場はございません。
近隣のコインパーキングをご利用ください。